

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成25年11月28日(2013.11.28)

【公開番号】特開2012-234876(P2012-234876A)

【公開日】平成24年11月29日(2012.11.29)

【年通号数】公開・登録公報2012-050

【出願番号】特願2011-100617(P2011-100617)

【国際特許分類】

H 01 L	21/60	(2006.01)
H 05 B	3/00	(2006.01)
B 23 K	3/04	(2006.01)
B 23 K	31/02	(2006.01)
B 23 K	1/00	(2006.01)
H 05 K	3/34	(2006.01)
B 23 K	101/42	(2006.01)

【F I】

H 01 L	21/60	3 1 1 T
H 05 B	3/00	3 3 0 Z
B 23 K	3/04	B
B 23 K	31/02	3 1 0 H
B 23 K	1/00	3 3 0 E
H 05 K	3/34	5 0 7 M
B 23 K	101:42	

【手続補正書】

【提出日】平成25年10月16日(2013.10.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

基板に対して接続材を通じて接続対象を接続するためのヒータにおいて、前記接続対象を吸着する吸着エア用の第1流路と、前記接続材を溶着するための発熱体と、前記発熱体を挟み込む各部を接続する締付具と、前記発熱体によって加熱された接続材を冷却する冷却エア用の第2流路とを備え、前記締付具は中空構造とされていて、当該中空部分が前記第1流路を構成しているヒータ。

【請求項2】

前記締付具は、前記第1流路が形成されているボルトを含み、当該ボルトには、その外部を前記冷却エアが抜けることを防止する円環が取り付けられている、請求項1記載のヒータ。

【請求項3】

前記冷却エアの流路であってヒータ本体を構成する各部間には、当該冷却エアの漏れを防止するワッシャが設けられている、請求項1記載のヒータ。